

平成25年 運輸業（貨物取扱業を含む）死亡災害事例

月	業種	職種		事故の型	発生状況の概要
		年齢	経験	起因物	
1	港湾運送業	積み卸し作業者	40歳代 25年以上30年未満	はさまれ、巻き込まれ	埠頭に着岸したコンテナ船からデッキに積載されたコンテナを揚貨装置にて岸壁に仮置きし、元のデッキに戻そうとした際に、コンテナが振れ、コンテナと船の構造部分であるスラッジタンクとの間に挟まれた。
				揚貨装置	
2	道路貨物運送業	貨物自動車運転者	50歳代 1年未満	激突	荷の積込先事業場の事務所から出た被災者が、同事業場の敷地内の自分の運転するダンプに戻ろうとしたところ、前進してきた積込先事業場の労働者が運転するトラクターショベルに頭をひかれ死亡した。
				整地・運搬・積込用機械	
3	道路貨物運送業	貨物自動車運転者	50歳代 20年以上25年未満	交通事故（道路）	埼玉県内の高速道路上で、トラック運転者である被災者は、追突事故を起こしたために自走不能となり、警察が来るまでの間、トラックを路上に停車させて運転席で待機していたところ、後方からトラックに追突され、後頭部に強い衝撃を受け死亡した。
				トラック	
4	道路旅客運送業	乗用自動車運転者	50歳代 5年以上10年未満	交通事故（道路）	国道の3車線中のセンターライン側を空車で走行していた被災者が運転するタクシーが、スリップを起こして左側のガードレールに衝突した後、真ん中の車線で停止した。被災者は車内で119番通報と会社へ事故報告している時、個人タクシーが被災者のタクシーに衝突し、更に中型貨物自動車も衝突した。その衝撃で被災者が死亡した。
				乗用車、バス、バイク	

本表の災害は、東京労働局管内の事業場で発生した平成25年運輸業の死亡災害です。